

1. CSOラーニング制度の歴史

環境分野の人材育成を目的として

安田火災環境財団（現SOMPO環境財団）を1999年に設立

財団の理念

「木を植える人を育てる」

財団の新たな事業として

CSOラーニング制度

2000年にスタート

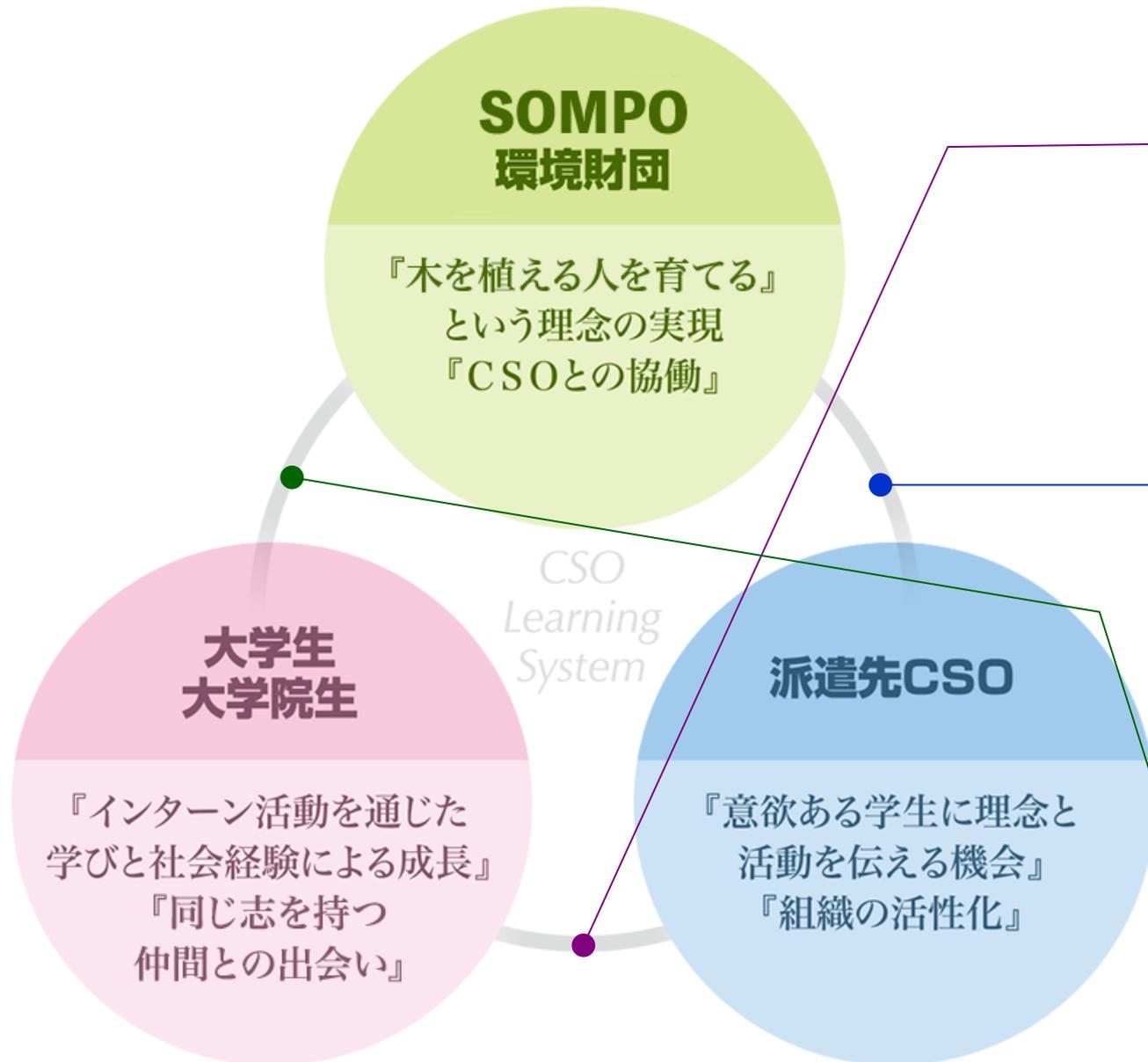
2. CSOラーニング制度の概要

大学生・大学院生が、主に**環境分野のCSO**で**インターンシップ**に参加する制度

<制度の特色>

- **期間**：7月から翌年1月までの**7ヶ月間**
- **奨学金**：活動1時間あたり**800円+通勤交通費**を支給
- **開催地域**：**関東、関西、愛知、宮城、福岡**の5地区で実施
(2019年よりインドネシアでも同様の制度をスタート)
- **歴史**：2000年度から**20年以上継続**、**70以上の団体**に派遣
約1,400名の修了生との幅広いネットワーク

3. CSOラーニング制度のしくみ



活動の指導

団体の特性を生かしながら、学生の関心にあわせた活動プログラムで、成長を後押し

連携・支援

活動状況をタイムリーに共有し、事務局と受入れ団体の双方で活動をサポート

交流機会の提供、奨学金による支援

定例会や合宿での交流機会創出、奨学金の支払による経済的負担の軽減

2000年開始～ **1,391**名修了



修了生1,000名突破記念OB・OG会 (2018.1. 3)



インドネシアNGOラーニング制度キックオフで(2019)



経団連自然保護協議会インドネシア視察団(2024)



インドネシアNGOラーニング第1期生と(2024)



バングラデシュNGOラーニング制度キックオフで(2025)